【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年6月17日(2021.6.17)

【公開番号】特開2019-208851(P2019-208851A)
【公開日】令和1年12月12日(2019.12.12)
【年通号数】公開・登録公報2019-050
【出願番号】特願2018-107281(P2018-107281)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　3/14　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　3/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　3/14　Ｍ
Ａ６１Ｂ　3/10　Ｒ

【手続補正書】
【提出日】令和3年4月28日(2021.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検眼の眼底画像を処理する眼底画像処理装置であって、
前記眼底画像処理装置の制御部は、
眼底画像撮影部によって撮影された前記眼底画像を取得し、
機械学習アルゴリズムによって訓練された数学モデルに前記眼底画像の少なくとも一部を入力することで、前記眼底画像の少なくとも一部に存在する動脈と静脈の検出結果を取得することを特徴とする眼底画像処理装置。
【請求項２】
請求項１に記載の眼底画像処理装置であって、
前記数学モデルは、過去に撮影された被検眼の眼底画像を入力用訓練データとし、且つ、前記入力用訓練データの前記眼底画像における動脈と静脈を示すデータを出力用訓練データとして訓練されており、
前記数学モデルに１つの前記眼底画像が入力されることで、動脈と静脈の検出結果が取得されることを特徴とする眼底画像処理装置。
【請求項３】
請求項１または２に記載の眼底画像処理装置であって、
前記制御部は、
取得した前記眼底画像の領域内の一部に関心領域を設定し、
前記数学モデルに前記関心領域の画像を入力することで、前記関心領域に存在する動脈と静脈の検出結果を取得することを特徴とする眼底画像処理装置。
【請求項４】
請求項１から３のいずれかに記載の眼底画像処理装置であって、
前記制御部は、
前記眼底画像の領域内のうち、乳頭を中心とする領域を前記関心領域として設定することを特徴とする眼底画像処理装置。
【請求項５】
被検眼の眼底画像を処理する眼底画像処理装置によって実行される眼底画像処理プログ

ラムであって、
前記眼底画像処理プログラムが前記眼底画像処理装置の制御部によって実行されることで、
眼底画像撮影部によって撮影された前記眼底画像を取得する画像取得ステップと、
機械学習アルゴリズムによって訓練された数学モデルに前記眼底画像の少なくとも一部を入力することで、前記眼底画像の少なくとも一部に存在する動脈と静脈の検出結果を取得する動静脈検出結果取得ステップと、
を前記眼底画像処理装置に実行させることを特徴とする眼底画像処理プログラム。